

令和3年度「教育環境を考える保護者懇談会」の実施について

1 目 的

少人数学級や複式学級の現状と課題を把握した中で、子どもたちが多様な考え方にふれ合う機会や集団としての活動の意義などの視点により、望ましい教育環境のあり方について保護者と議論を深めていくことを目的として開催するもの

2 対象校

- ・今後も継続的に複式学級の編制が見込まれる小学校
- ・近隣校との往来が比較的容易な平場の小学校

【令和3年度実施校：9小学校】

桂小、石坂小、深沢小、宮本小、大積小、日吉小、下塩小、上塩小、東谷小

3 対象者

- ・小学校在籍児童（1～6年生）の保護者
- ・小学校区に居住する未就学児（3歳児～5歳児）の保護者

4 懇談会の実施状況

(1) 開催状況（令和3年度）

開催日	学校名	対象 世帯数	参加 世帯数	世帯 出席率
R3. 8. 5	東谷小学校	52	17	32. 7%
R3. 8. 6	上塩小学校	17	9	52. 9%
R3. 8. 18	下塩小学校	47	9	19. 1%
R3. 8. 19	桂小学校	36	12	33. 3%
R3. 8. 20	石坂小学校	33	7	21. 2%
R3. 12. 16	日吉小学校	58	23	39. 7%
R4. 3. 7	大積小学校	17	11	64. 7%
R4. 3. 8	宮本小学校	55	21	38. 2%
R4. 3. 9	深沢小学校	35	25	71. 4%

(2) 教育委員会からの情報提供

- ・各小学校の児童数・学級数の推移等（過去20年の推移及び令和9年度までの推計）
- ・小規模校における教育環境について（メリット及び課題）
- ・複式学級における学習の進め方について
- ・学校統合の手順等について
- ・保護者アンケートの実施について

(3) 各学校での開催状況

①「教育環境に関する保護者アンケート」の実施

- ・川東地区5校において、6月に「教育環境に関する保護者アンケート」を実施し、アンケート結果を8月の保護者懇談会で報告した。
川西地区4校のうち、日吉小で12月の保護者懇談会終了後にアンケートを実施した。
3月に実施した3校については、令和4年度上半期に実施予定。
- ・アンケートでは、「現状維持」、「統合」の意見を比較すると、概ね「統合」を望む割合の方が多かったが、一部では「現状維持」の割合が多い学校もあった。

②懇談会実施後の地域の動き

(上塩小) 保護者は、統合を望む声でほぼ一致しており、地域からも理解を得られるよう、今後の話し合いについて、市教委と地元間での調整を求める声が挙がった。

→これを受け、12月17日に市教委と上塩谷地区区長6名で懇談の機会をもった。

(下塩小) 保護者からは、「自分たちでも議論を深めていくべき課題である」との認識が示され、保護者有志での発意による、独自の懇談会やアンケートを実施した。

→10月29日(学習参観日)に保護者懇談会を開催。11月にはアンケートを実施した。

③令和4年度以降の見通し

- ・今年度の懇談会出席状況は、9校のうち6校で対象世帯の4割以下にとどまった。懇談会に参加できなかった方や、アンケート未回答者なども一定数あったことから、保護者全体の意見を把握する必要がある。より多くの保護者が集まる学校行事やPTAの会合等の機会に合わせて、懇談を行うなどの工夫も必要だと考える。
- ・令和3年度の懇談の中で、保護者から統合に前向きな意見の多かった地域については、保護者意見の集約を進め、地域住民も交えた中で意見交換の場を設けていくこととしたい。

(4) 保護者の主な意見

①教育環境について

- ・小規模校の教育環境に満足している。現状維持を希望。(⇔ 早く統合してほしい)
- ・大人数の中では、児童一人ひとりに先生の目が行き届かなくなり、いじめや不登校につながるかが心配。
- ・複式学級の学習方法に関するメリット・課題に関する感想
(きめ細かな指導を受けられる ⇔ 集団行動の制約がある)
(一人ひとりが活躍できる機会 ⇔ 人間関係・評価の固定化)
- ・集団活動に関する制約については、近隣校との合同行事の実施等、統合に頼らずに解決できる方法もあるのではないか。
- ・一定規模の集団の中で、他者とのコミュニケーションや互いに切磋琢磨し、競争力を育むことができる環境は、子どもの成長にとって有益だと考える。
- ・複式学級の有無により、子どもの学力に差は生じているのか。
- ・小規模校から大規模校へ入学した時に、環境変化によるギャップを感じないか心配。子どもの環境変化に対する心のケアが大切だと感じる。
- ・保育園の統合・閉園と小学校入学との関係性
(学区が違うため、保育園の友達と違う学校に行くことになる。)
- ・タブレット端末を活用したオンライン授業などの導入を進めてほしい。
- ・児童数減少＝教員数の減少による教員の多忙化を解消してほしい。
(市独自で教員配置数は増やせないのか)
- ・学校のあり方については、人数ありきの考え方だけでなく、学習面、文化面の観点等から教育の原点である「人を育てる」ことについて、真剣に考えていく必要があると思う。

②学校統合について

- ・統合については、地域から声が挙がらないと協議が進まないのか。
- ・統合手続きに要する期間はどのくらいかかるのか。
- ・地域から反対意見等が出た場合、どのようにして結論をまとめたのか。
- ・教育委員会のスタンスとしては、「統合推進」なのか。
- ・統合する場合の相手先の学校は、あらかじめ市の方で方針を決めているのか。
- ・統合する際は、大人の意見だけでなく、子どもたちの意見も聞いてほしい。
- ・統合後は通学距離が長くなるが、通学方法はどうか。(スクールバス等)
- ・現時点では、現状維持と統合のどちらがよいかを判断できない。